三股町文化財報告書　第３集

三股町内遺跡Ⅰ

2001年

宮崎県三股町教育委員会

三股町文化財報告書　第３集

三股町内遺跡 I

宮ノ原地区遠景（北から撮影）

2001年

宮崎県三股町教育委員会

序

三股町は、宮崎県の南部に位置し、西部は都城市に隣接しております。近年の開発事業等の増加により、埋蔵文化財の保護と諸開発との調整が大きな課題となっております。三股町教育委員会では、平成６年度から平成７年度にかけて実施された町内遺跡詳細分布調査の結果をもとに、開発行為が埋蔵文化財に影響を与えることが危惧される場合について事前の試掘・確認調査を実施しているところであり、本書はその報告書であります。この調査が、開発と埋蔵文化財の保存とが共存しうるきっかけとなり、埋蔵文化財への理解を深める一助となれば幸いであります。

最後になりましたが、調査に御協力頂いた関係諸機関並びに地権者の方々に深く感謝申し上げます。

三股町教育委員会

委員長　中　西　恭　昌

例　言

1．本書は、三股町教育委員会が国・県の補助を受けて、平成12年度に実施した町内遺跡発掘調査の報告書である。

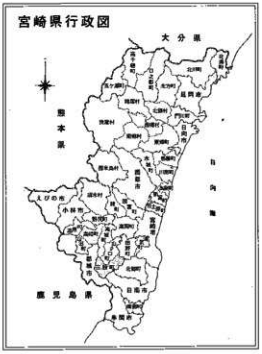
2．遺跡の名称は小字名による。

3．調査体制は以下の通りである。

調査主体　三股町教育委員会	教　育　長	中西秦昌
	生涯学習課長	温水東嶽
	同課長補佐	二宮利博
	同　係　長	内村陽一郎
	主任主事	綿田賢介（庶務担当）
	主任主事	黒木欣綱（調査・執筆・編集担当）

4．報告書中の方位は磁北である。

5．出土遺物・その他諸記録は三股町教育委員会で保管している。



本文目次

Ⅰ．遺跡の位置と環境 …… 1～2
Ⅱ．調査に至る経緯 …… 3
Ⅲ．調査の内容 …… 3～4
報告書抄録 …… 8

挿図目次

第１図　調査対象地位置図 …… 1
第２図　周辺遺跡位置図 …… 2
第３図　外戸口遺跡群基本土層柱状図 …… 3
第４図　宮ノ原第１地区内トレンチ位置図 …… 4

図版目次

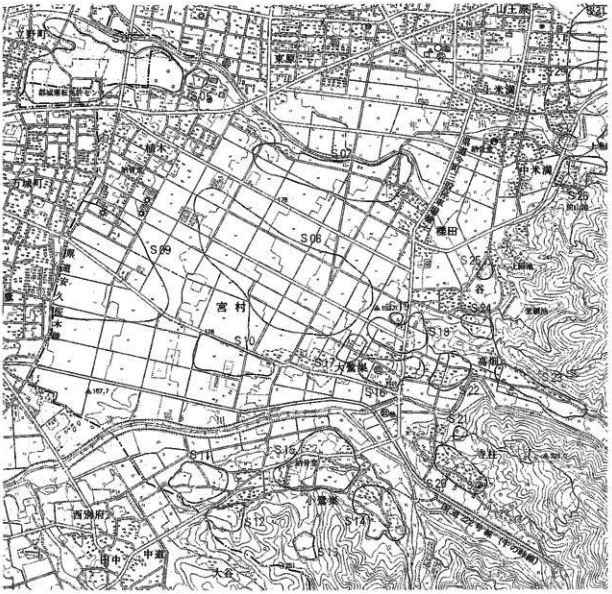
図版１　宮ノ原地区調査状況 …… 5
図版２　宮ノ原地区出土遺物及び作業風景 …… 6
図版３　秋丸地区調査状況 …… 7

Ⅰ．遺跡の位置と環境

① 外戸口遺跡群（大字椎山字外戸口、出水、八谷、向原）

中原遺跡群（大字宮村字中原、北原、西原）

当地は三股町の西部に位置し、北部は萩原川、南部は年見川に囲まれた平地で、現況は広域な畑地帯となっている。当遺跡は、三股町遺跡詳細分布調査報告書（平成８年度発行）によれば弥生、古墳、平安時代の包蔵地となっている。また、事業計画区域内には、外戸口遺跡群の南部に中原遺跡群が周知の遺跡として確認されている。



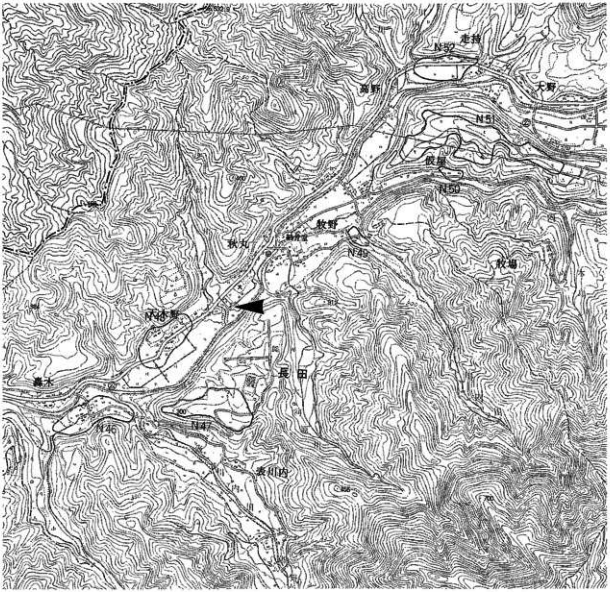
S05：古堀第１遺跡	S06：古堀第２遺跡	**S07(①)：外戸口遺跡群**	**S08：中原遺跡群**	S09：下鷹遺跡群
S10：上鷹遺跡群	S11：下水流遺跡群	S12：宇都第１遺跡	S13：宇都第２遺跡	S14：田尻遺跡
S15：平原遺跡	S16：畑田遺跡	S17：西原遺跡	S18：岡下遺跡	S19：岡之元遺跡
S20：村前遺跡	S21：前畑遺跡	S22：尾崎遺跡	S23：高畑遺跡	S24：和田遺跡
S25：中村遺跡	S26：山内遺跡	S27：山下遺跡		

第１図　周辺遺跡位置図（１：25,000）

② 大字長田字秋丸地区

当地は、三股町遺跡詳細分布調査報告書（平成８年度発行）によれば、南西に縄文の包蔵地である天木野遺跡が隣接している。また、長田小学校の東北隅には朝倉家が管理する石塔群が存在しており（現在は、県道の歩道整備のため移転されている）、石塔には、享保、元文、宝暦年銘が見られることから江戸期のものであることが判る。

当地の石塔群は、三股町郷土史研究会による『みまたの石造文化』（平成５年）に、４基の墓塔が掲載されている。



N46：轟木遺跡　N47：火ノ口遺跡　N48：天木野遺跡　N49：小川内遺跡
N50：御崎原第１遺跡　N51：御崎原第２遺跡　N52：走持遺跡

第２図　周辺遺跡位置図（１：25,000）

Ⅱ．調査に至る経緯

① 外戸口遺跡群（大字樺山字外戸口、出水、八谷、向原）
中原遺跡群（大字宮村字中原、北原、西原）

今回の調査は、宮ノ原地区における県営畑地帯総合整備事業に起因している。平成12年９月下旬、三股町役場耕地課より事業計画区域内の文化財の有無、取扱についての照会があった。本事業は、新規事業ということもあり、現在計画段階にあり、工事施工は平成14年度以降の可能性が高い。しかし、計画区域が127haという広域な面積であるため、計画的な試掘による遺跡の性格の把握が必要となった。工事の内容は、現況道路の一部拡幅と下水管埋設が計画されているが、関連施設の建設も予定されているようである。三股町教育委員会では、事業者の諸手続きを待ち、随時試掘調査、確認調査を施している。

② 大字長田字秋丸地区

平成12年９月上旬、三股町より三股町立長田小学校敷地内の開発事業予定地内における文化財の有無、取扱についての照会があった。協議及び現地調査を行い、施設用地の現況が長田小学校の運動場ということもあり、冬休み期間中の平成12年12月25日に試掘調査を実施した。

Ⅲ．調査の内容

調査はトレンチ法（２m×３m標準）で実施した。

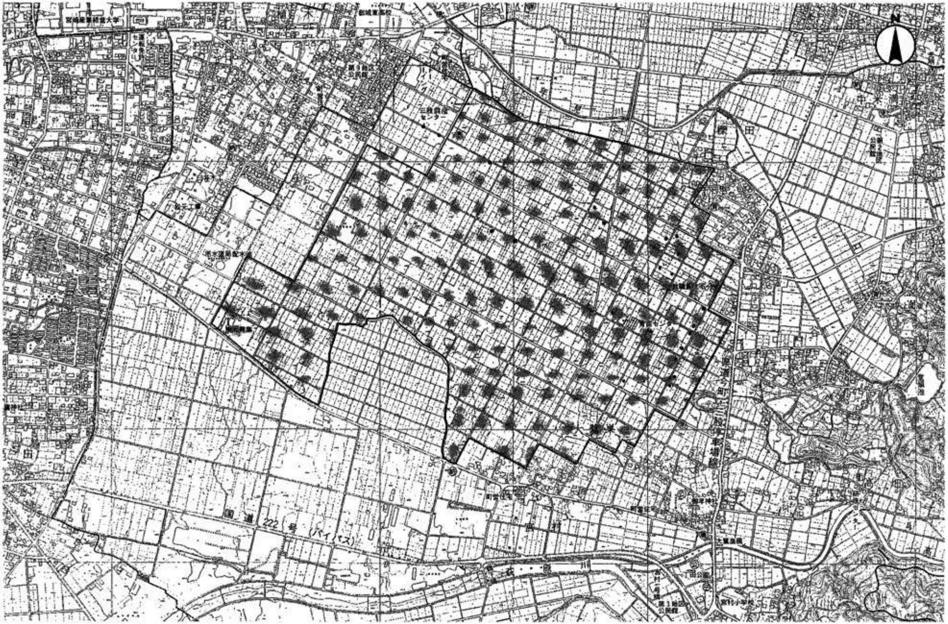
① 外口遺跡群（大字樺山字外戸口、出水、八谷、向原）
中原遺跡群（大字宮村字中原、北原、西原）

調査は、事業計画区域内の町道脇の畑地を対象として、地権者との調整を行いつつ実施した。７月14日より調査に着手し、現在23箇所の試掘・確認調査を施した。層位は、表土の下は黒色（粘質）土層で、その下に暗褐色土層（御池ボラを含む）、さらに黒褐色土層（御池ボラを含む）、その下に御池軽石層が堆積する。調査の結果、黒色土層、暗褐色土層が縄文・弥生・古墳時代の包含層であることが確認された。周知の遺跡である外戸口遺跡群、中原遺跡群から外れたトレンチ11、12、16、17においても遺構・遺物の検出が確認され、文化財保護において事業者との協議の際の資料を得ることができた。事業計画区域内の現況が畑地であるのに対し、調査の結果では概ね包含層の残存は良好であった。

第３図　外戸口遺跡群基本土層柱状図

② 大字長田字秋丸地区

調査に至る経緯でも述べたように、三股町立長田小学校の施設用地として現在の運動場が調査対象地である。対象面積は、3,464㎡で、試掘調査では２m×３mのトレンチを３ヶ所ほど任意に設定し掘削を行った。３ヶ所とも造成土が１m以上堆積し、遺構・遺物は確認されなかった。



第４図　宮ノ原第１地区内（事業計画地区内）トレンチ位置図（１：14,000）

外戸口遺跡群（北から）

中原遺跡群（西から）

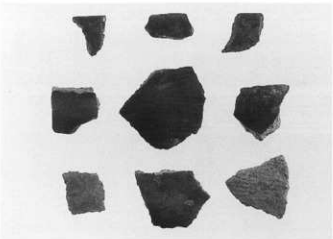
トレンチ8

トレンチ11

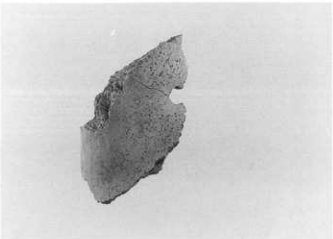
トレンチ16

トレンチ17

図版1　宮ノ原地区調査状況

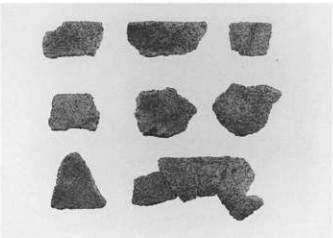


トレンチ11

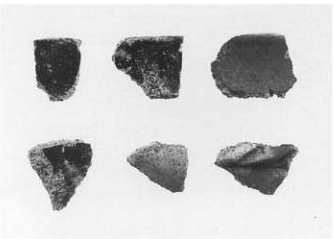


トレンチ16

トレンチ17



トレンチ17



トレンチ17

作業風景

図版２　宮ノ原地区出土遺物及び作業風景

調査地現況（西から）

調査地現況（東から）

調査地現況（北から）

トレンチ1

トレンチ2

トレンチ3

図版3　秋丸地区調査状況

報告書抄録

フリガナ	ミマタチョウナイイセキ
書名	三股町内遺跡Ⅰ
シリーズ名	三股町文化財調査報告書
シリーズ番号	第3集
編集者名	黒木　欣綱
発行機関	宮崎県三股町教育委員会
所在地	宮崎県北諸県郡三股町五本松１－１
発行年月日	２００１年3月３１日

所収遺跡名	所在地	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
外戸口遺跡群	三股町大字樺山字外戸口、出水、八谷、向原			2000.7.14～2001.3.31	40㎡	県営畑地帯総合整備事業
種別	主な時代	主な遺構		主な遺物	特記事項	
散布地	弥生・古墳時代	柱穴・土坑		土器		
所収遺跡名	所在地	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
中原遺跡群	三股町大字宮村字中原、北原、西原			2000.7.14～2001.3.31	50㎡	県営畑地帯総合整備事業
種別	主な時代	主な遺構		主な遺物	特記事項	
散布地	縄文・古墳時代	柱穴・土坑		土器		
所収遺跡名	所在地	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
大字長田字秋丸地区	三股町大字長田字秋丸			2000.12.25	20㎡	三股町立長田小学校施設用地
種別	主な時代	主な遺構		主な遺物	特記事項	
		なし		なし		

三股町文化財調査報告書　第３集

2001年３月

発　行　宮崎県三股町教育委員会
〒889－1995
宮崎県北諸県郡三股町五本松１－１
TEL　0986－52－1111

印　刷　株式会社　長崎印刷
〒889－4413
西諸県郡高原町大字後川内18-2
TEL　0984－42－1069